令和４年度　事 業 報 告		
事業方針	事業の推進	● 引き続き、コロナ禍における園での生活様式や行事のあり方について、常に検討し見直しを行った。 ● 園での生活の様子を知っていただくための動画配信とインスタグラムの開設を行った。 ● 園児募集説明会は事前予約制とし、密を避け感染拡大予防対策に則り実施した。 ● 感染拡大予防のため、食事・おやつの際のパーテーション設置は継続したが、年長児については距離を開けて対面で食事をすることとした。また、園外保育での昼食も解禁とした。 ● バス置き去り事件後、安全確保の強化のため、運転・添乗マニュアルの見直しと周知の徹底を行う。また、園内でのけがをした場合の対応については、再検討を行った。
	予算編成の基軸	● 園児総数 2,826 名(乳児部３１名・満３歳児９名・年少児６４名・年中児 56 名・年長児７４名)、教職員５７名で編成した。
具体項目		内　　容
1	教育計画	● コロナ発症以来見直しを進めてきた教育保育内容について、さらなる見直しと精選を行ってきた。 ● 自由遊びの時間帯は、年代・発達に応じたおもちゃを提供し、一人一人が好きな遊びをじっくり取り組めるような環境を構成することに努めてきた。 ● 保育理念や教育目標を達成するためのねらいを共有し、より職員間の報告・連絡・相談を確実にしてきた。⇒　各学期ごとの担当者全員による振り返り・担任と補助教諭の定期的な打ち合わせの確保 ● 園周辺の自然環境を活かした教育保育活動の推進に努めてきた。キツネ山・小野山への散歩・クローバー畑の設置と整備・裏庭の環境整備・土手の草滑り　等 ● ４年度も２歳児と満３歳児の合同保育を６月より実施し、２歳児というくくりの中でのカリキュラムを見直し・環境の構成に努めた。 ● 引き続き乳児クラスの週２回ノーノートデイの協力をお願いする。その結果、園児の成長発達についての話し合いができ、担当職員全員で対応について把握・共有できた。 ● 異年齢児と関わる活動の一環として、長期休業時の預かり保育に縦割り保育を導入した。
2	研究計画	● 園内研修を実施した（指導計画の見直しと検討・早期より担任を交代しての保育・指導要録の担任間での見合わせ）。 ● 外部講師による全職員研修（コスモ荒木先生）を実施した。 ● 県私幼・市私幼の研修は、対面・ズームそれぞれの形態にて参加した。 ● 全職員で「不適切保育」についてのオンライン研修を視聴後、学年ごと話し合いを行い、報告書を県に提出した。 ● 「きらり」が主催する支援体制強化事業に参加した。
3	地域連携計画	● コロナ感染症拡大防止のため下記の交流会等は、今年度も中止となった。 ・年長児　　ふれあいサロン　「ペリデ長田」の訪問 ・中学生の職場体験活動（長田西中・長田南中） ● 中止となっていた下記の行事に参加 ・８月の『宿場まつり』　・11 月の『子育てフェア』 ● ちびっこの会は、感染状況を考慮しながら毎月開催し、園庭開放・各種催しを通して子育て支援を行う。ただし、７月は中止とした。 わかすぎキッズは、７・１１月を中止とする以外は、予防対策を徹底して実施した。 ● 未就園児教室について地域の広報誌にチラシを掲載していただき、回覧板にて周知した。 ● 就学先小学校（長田西小）の参観会・意見交換会に参加させていただき、幼小連携について話し合うことができた。また、近隣園の実情等を知る機会ともなった。
4	施設設備計画	● 総合遊具　１基　9,770,000 円　で購入・設置した。 ● 印刷機　１台　411,620 円　で入れ替えした。 ● アルコール検知器　１台　133,760 円　で購入した。 ● エアードック（空気清浄機）　２台　264,000 円　で購入した。 ● ドアロック　301,400 円　で設置した。 ● 令和４年卒園児より、ネフスピール５セット　292,000 円の現物寄付を受けた。
5	管理運営計画	● 全教職員で保育の充実・安全管理に努めた。 ● 研修に励み、一人ひとりの能力の向上に努めた。 ● 教育補助員２名を雇い入れた。
6	財務計画	● 短期借入金　16,558,000 円　を返済した。 ● 長期借入金　9,770,000 円　を遊具購入資金として借り入れた。